

文部科学省認可通信教育
(第4種 定形外郵便)
令和4年4月発行

放送大学滋賀学習センター

樹 滴

緑豊かな環境

真理のしたたり

第123号

〒520-2123

滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5
龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階

TEL.077-545-0362

FAX.077-545-2096

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/shiga/>

目 次

「タイ：ムエタイは国技ですか？」(滋賀学習センター所長 平井 肇)	1
「ドイツ経済史から見た『中間層』の歴史」(滋賀学習センター客員教授 三ツ石 郁夫)	2
「謝 辞」(教養学部 生活と福祉コース 清 裕美子)	3
2021年度 公開講座	4
客員教員の紹介	5
セミナーのご案内	7
事務室からのお知らせ	9



タイ：ムエタイは国技ですか？

滋賀学習センター所長 平井 肇

みなさん、ムエタイってご存じですか。タイ発祥の武術で、ボクシングによく似ています。ボクシングとの大きな違いは、足を使っても良い点です。つまり、パンチとキックで相手を倒しにかかる、かなり荒っぽい格闘技です。日本ではキックボクシング、タイ式ボクシングと呼ばれることもあります。

ムエタイの起源はインドの格闘技にあるそうですが、確かなことはわかっていないようです。ただ、ふだんは農民の下級兵士たちが戦に駆り出されて、素手素足で戦ったことがその原型となったのは間違いのないようです。その後、戦いに備えるための訓練として武道化され、それが祭などハレの舞台で披露されるようになり、次第に娯楽・大衆化したようです。

さらに 19世紀以降、この国の近代化とともに学校や軍隊の訓練で盛んに採り入れられるようになって、西洋式のスポーツの要素が次第に加わったと考えられます。ちなみに、今日のムエタイはボクシングと同じようなグローブを着けていますが、もともとは素手に木綿布を巻く程度でした。ある大学で体育専攻の学生が古式ムエタイの型を披露してくれたのですが、彼らは素手でした。古式ムエタイにはタイ舞踊に近い動きやリズムもあって、闘う要素と同時に演じる要素も感じました。

ずいぶん昔のことですが、首都のバンコクでムエタイの練習に励む小学生を紹介したテレビ番組を見たことがあります。その中で、ある僧侶が「ムエタイはタイの国技 (national sports)。タイの男の子は、だれでもムエタイ・スピリッツを持っている。」と (英語で) 力を込めて話していました。その時、彼の「ムエタイは国技」だとの発言が妙に引っかかりました。そこで、機会あるごとに、知り合ったタイの人たちに何気なくこの質問を試してみました。

ほとんどの人が、あのタイ人特有の曖昧な微笑みで「そうかもね」とか「さあどうでしょう」と曖昧な返事を返してきました。私の経験からして、タイ人の微笑みにはウラがあることが多いので (タイの皆さん、ごめんなさい)、余計にこのことが気になっていました。その後、タイの大学の先生にこの疑問をぶついたら、「ある人にとってムエタイは生き方 (way of life) だけど、ほとんどのタイ人にとっては別の世界のことだ」という返事が返ってきました。

それからしばらくして、バンコクのスラムにあるムエタイ・ジムを見学する機会がありました。選手の大半は田舎からムエタイをするためにやってきた若者で、ジムで寝泊まりをしながらハードな練習をしていました。あるひとりの青年に話を聞いたのですが、彼は大学生でした。田舎から出てきて、ムエタイのファイトマネーで学費や生活費を稼いでいると言っていました。ジムのオーナーによれば、彼はスター級で、1試合のファイトマネーが平均的な公務員の月収の数ヶ月分だそうです。しかし、これは例外で、ほとんどの選手が定職を持たないで、試合に負けたり対戦を組んでももらえないと辞めるそうです。

その彼が、「ムエタイの殿堂」のメインイベントで試合をするのを見学しました。ちなみに、この会場はタイ王国陸軍の所有です。試合もさることながら、観客席の様子が印象的でした。リングを囲んでパイプ椅子が並び、観戦しているのは高い入場料を払った外国人観光客。彼らはムエタイの迫力に圧倒されてか、静かに観戦しています。一方、特等席を取り囲むように陣取るのは、熱心な地元ファン。ほとんどが男性で、大きな身振り手振りで大声を出していました。試合もさることながら、彼らの熱気に興味が湧いて、後日改めて出向いて、一般席に行ってみました。何と、そこではギャンブルの真最中で、身振り手振りは胴元とのコミュニケーションだったのです。私の目の前を、お札が行ったり来たりしていました。

また別の機会に、田舎の広場の特設リンクでムエタイを見たこともあります。明らかにトレーニング不足のオッサン同士の対戦や、女性や子供同士の対戦もありました。観戦する人たちも家族や知り合いが多いのか、真剣さとそうでない部分が半々のようで、皆がその場を楽しんでいる微笑ましい光景でした。

今思えば、ムエタイを通して貧富の差や階級間の対立、都会と田舎の格差といったタイ社会の分断の一面を見たような気がしています。外国人である私の「ムエタイは国技ですか」という問いには一種の郷愁を感じるころはあっても、今を生きる人たちにとっては返答に窮する、微笑みのオブラートに包んで曖昧に答えるしかない、ちょっと微妙で失礼な質問だったのかもしれませんが。

ドイツ経済史から見た「中間層」の歴史

滋賀学習センター客員教授 三ツ石 郁夫

「中間層」というと、最近の日本では「新しい資本主義」における「分厚い中間層」の文脈のなかで語られることが多い。その意味合いは、1980 年頃以来の新自由主義政策が浸透するなかで貧困や格差拡大の問題が深刻化してきたことを受けて、これに対処するために所得面からみた中所得階層を量的に拡大させ、それによって経済立て直しや社会保障の安定的な運営を目指そうとするものである。中間層は経済だけでなく政治の安定にとっても重要な政策領域になっているのである。ところでこの「中間層」とは、歴史的には独自の意味合いを持つ社会層であった。ここではドイツの経済の歴史から「中間層」とはどういう社会層か考えてみたい。

ドイツ語で中間層とは Mittelstand あるいは Mittelschicht と表記されるが、後者は第二次大戦後になって中間的な所得階層の意味で使われるようになった。それに対して前者は資本主義発展以前から存続する「中間身分」である。もともと財産や教養、さらに知識や技術を持つ都市と農村の独立した営業身分をさしていた「中間層」は、具体的には手工業者や中小商人、自営農民、また 19 世紀末からは技術者やホワイトカラーをも新たに含むようになったが、資本主義が発達した 20 世紀になると、(大)企業家・経営者および労働者の間にある「中間的な身分」をさすことになった。そうした意味では多様な職業集団からなる混成体ともみなしうるが、なかでも手工業者、商人などの旧中間層は、一般的に伝統的な政治文化のイデオロギーと独自の日常生活の意識と様式を持ち、時代の政治権力の重要な社会的基盤と見なされてきた。

ところでこうした営業的中间層の活動基盤は資本主義発展のなかで脅かされた。なぜなら資本主義の発展は大経営企業家と労働者の拡大傾向を推し進めるからである。ヒルファディングが「組織された資本主義」と呼んだように、第一次大戦後のワイマール時代には経営者団体と労働組合との合意によって経済は安定化し両者の利益に沿った政策がとられた。中間層はもちろん固定的な社会層ではなく、一方で上層部分は企業家に上昇し、他方で下層部分は労働者に下降する。そうした流動性ゆえに、中間層は自らの保護や利益政策を要求したのであるが、第一次大戦前と比べれば、ワイマール時代にはその要求を救い上げる政治勢力は少なかった。そうしたなかでナチ党は、綱領において小生産者の保護や健全な中産階級の育成などの中間層寄りの項目を掲げ、中間層政党として勢力を拡大したのである。これを基盤にして、同党は世界恐慌期になると政治経済混乱や失業者急増に対応して労働者や若者層へと支持層を拡大し、いわば国民政党としての性格を強めて 1933 年に権力を掌握したのである。

ナチ党と中間層との結びつきについては、政権掌握前の選挙投票分析などから実証されているが、政権掌握後に中間層が保護されたかどうかについては意見が一致していない。一方で、たしかに中間層経営はナチ期に一定程度保護されたが、1936 年以降になると「不要な階層」として整理・閉鎖されたと把握されるのに対して、他方で中間層経営は自己の経営存続に関心を持ち、ナチ期の能力主義・業績主義的政策に適応して合理化を遂げていったと把握されている。

後者の見解は資本主義発展を理解するうえで重要である。なぜなら、資本主義発展はもちろん既存大企業と労働者階層の活動にもとづいて進むのであるが、産業構造や技術基盤の変化に対応して新たに起業する中小企業家や既存経営の適応と陶冶によってより大きなダイナミズムを与えられるからである。資本主義における中小経営の存在意義は、ワイマールやナチズムの時代だけでなく、その後の時代においても重視する必要がある。第二次大戦後になると、ドイツの中間層経営は旧来の資格制度や中間団体組織を維持するとはいえ、戦前とは異なる自由主義と社会国家の経済秩序のなかで競争市場に適応する現代的な自己所有の中小経営に転換した。現代ドイツ経済において、「中間層 (ミッテルシュタント)」は雇用の大きさと生産性の高さ、そして世界市場での競争力ゆえに発展の原動力として重視されている。

謝 辞

教養学部 生活と福祉コース
卒業生代表 清 裕美子

新型コロナウイルス感染症流行の第6波の収まりきらぬこの時期、困難な状況にもかかわらず、「卒業証書・学位記授与式」を開催して頂きまして、本当にありがとうございます。

滋賀学習センター教職員の皆様並びに関係者の皆様に、卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

在学いたしましたこの2年間は、コロナに始まりコロナに終わる2年間でありました。外出もままならぬステイホームのような状況の中にあっても、学ぶことは楽しく、学ぶことによって、癒され励まされたものです。そして、放送大学の学生でいられることに感謝いたしました。

福祉について学びたいと思い、入学した私でしたが、興味は、健康、疾病、感染症やウイルスに移り、それからは、その系統の科目に絞って履修いたしました。治療薬のまだない病気を持つ身といたしましては、医学的なことを学べるのはとてもうれしいものでした。

来年度からは生物学について学びたく、「自然と環境」コースに再入学いたします。

地球温暖化による気候変動、コロナウイルスによるパンデミック、ロシアによるウクライナへの武力侵攻、第三の被爆国を出さないために、そして、その他の数えきれない問題に立ち向かうために、今まで以上に、世界は英知を求められています。私たちも広く世界に目をむけなければなりません。

放送大学という恵まれた学びの場を持つ私たちは幸せです。「生涯一学生」という夢を胸に、これからも学び続けたいと思います。

最後になりましたが、放送大学滋賀学習センターの益々の御発展と、センター長始め、教職員の皆様、学生の皆様のご健勝を祈念いたしまして、謝辞とさせていただきます。

ありがとうございました。



清 裕美子氏 謝辞



平井所長 式辞



客員教員

2021年度公開講座を開催しました

さる1月29日、2月5日の2回にわたり公開講座を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、龍谷大学瀬田キャンパス4号館2階の広々とした階段教室、209講義室をお借りしました。大学らしい雰囲気の中、両日とも多数の方が参加され熱心に聴講する姿が見られました。また、初の試みとして滋賀県立図書館から図書の出前展示をしていただきました。講演者の著書はもちろん、講演に関する書籍も多数展示いただき、こちらも参加者が熱心に閲覧していました。

第1回公開講座

ナチズムの時代の経済と社会

— 両大戦間期のドイツ史が語ること —

参加された方の感想（一部抜粋）

- 初めて公開講座に参加しました。「経済」から見た大戦間のドイツの状況についてのお話、大変興味深かったです。「ナチ=悪」というまとめ方をされてしまいがちなこの時代ですが、こうした体制や時代の動きの中で生きていた多くの人がいたことを改めて感じました。「中間層」という視点も新鮮でした。もっと本を読んでみたいと思います。ありがとうございました。
- 一般には聞く機会の少ない、ある種タブー視されている側面のあるテーマをわかりやすく解説し、くださり大変興味深く聞かせてもらいました。内容が膨大でついていけなくて必死でしたが、ナチの経済政策やその背景にあったものを深く理解し捉えることができました。平井所長の素晴らしい視点からの質問にも感動しました。ありがとうございました。



第2回公開講座

平安貴族社会と牛

— あなたが平安貴族だったら、自分の牛にどんな名前をつけますか —

参加された方の感想（一部抜粋）

- 思ってもいない切り口で聞いていて面白いお話でした。ありがとうございました。
- お話が面白く楽しかったです。平安時代などの勉強の中で牛に注目したのは初めてです。
- 解説がとてもユニーク。「私は全て知っていますぞ」という感じで面白い。暴走する牛、けんかする牛、人事査定に利用された牛、個体識別のため名前を付けてもらって愛されていた牛、平安時代の牛に思いを寄せて楽しい講演会であった。



客員教員の紹介

荻田 純久 先生



客員教員を拝命して3年目になります。専門は教育心理学、臨床心理学で、現在は過剰適応、AI（人工知能）の教育相談への応用などに興味があります。2021年度は「心理療法の基本セミナー」を実施しました。基本というと簡単そうなイメージがあるかもしれませんが、私には<基本が全てだと言っても過言ではない>という信念があります。本当に基本を理解しているか。本当に基本を体得しているかということ考えると、私自身、自信のない点がちらほらあります。このセミナーは、2022年度も継続していきたいと思います。基本を学びながら様々な流派の心理療法の共通点や差異について考えていき、心理療法を可能な限り俯瞰してみたいと思います。

【関西学院大学教職教育研究センター准教授 / 専門分野：教育心理学・臨床心理学】

兼重 努 先生



2022年度も客員教員を務めさせていただきます。引き続き宜しくお願い致します。専攻は文化人類学。中国の少数民族文化、風水思想、功德観と積徳行、文化遺産等について研究しています。

2022年度第1学期は（2021年度第2学期に引き続き）「仏教文化圏の功德観と積徳行セミナー（地域間比較研究の視点から学ぶ）」を開講します。

功德を積む行為を積徳行といいます。東南アジアの上座仏教文化圏と東アジアの大乗仏教文化圏では共に積徳行が盛んですが、相違もあります。両文化圏の功德観と積徳行について地域間比較研究の視点から紹介します。

2022年度第1学期は、新たにラオス、カンボジア、スリランカ等の事例（上座仏教文化圏）ならびに中国や日本の事例（大乗仏教文化圏）について紹介する予定です。

【滋賀医科大学教授 / 専門分野：文化人類学】

川中 大輔 先生



社会が大きく変化する中で、20世紀社会につくられた多くの仕組みが十全に機能しなくなっていることは既によく知られていることです。では、全ての人々が幸せに生きていくためには、どのような仕組みを新たに創り出していけばよいのでしょうか。この問いに対して社会的に探究し、具体的な動きを構想していく社会デザイン研究が私の専門です。特に市民社会からのイノベーションに関心を寄せており、現在は社会イノベーターと呼ばれる人々の成長過程に関する研究に取り組んでいます。

今年度のセミナーでは、市民の社会貢献や社会参加を巡る動向を踏まえつつ、新たな公共性や社会的連帯の再構築について考えていくこととします。

【龍谷大学社会学部准教授 / 専門分野：社会学】

客員教員の紹介

京樂 真帆子 先生



2022 年度も客員教員を務めさせていただきます。

専門は、日本古代史、特に平安貴族社会や平安京に関する研究です。セミナーでも、『栄華物語』を読みながら、平安時代の貴族が何を考え、どう行動したのかを明らかにしていきたいと思っています。

『栄華物語』は、女性である赤染衛門が(少なくとも前半部分は)執筆したとされる歴史書ですが、日本文学研究からのアプローチが主流で、歴史学者は活用に苦慮している作品です。あらためて読み直してみますと、男性貴族が残した史料からは読み取れないような歴史像が浮かび上がってきて、多角的な物の見方こそが歴史を豊かにするのだな、と実感しています。

今年度は、冷泉天皇が登場し、あの安和の変が起こります。

【滋賀県立大学人間文化学部教授 / 専門分野：日本古代史】

藤原 学 先生



2022年度も客員教員（5年目）を務めさせていただきます。実験を中心としたセミナーや面接授業を担当してきましたが、いまさらながら化学の奥深さに気づかされております。私が大学で研究している機器分析化学の分野は、測定試料として有機化合物、無機化合物、そしてそれらの複合体を対象としています。新しい試料に出会う度にその背景の化学を勉強し直すことになります。これまでの自らの知識と経験を駆使して、専門分野の方々とは異なるアプローチをすると、試料も違ったものとして見えてきます。皆さんの生活にもたくさんの物質や材料が存在していますが、塊としての材料としてではなく分子として化学の目から眺めていただくときとまた別の世界が感じられることでしょうか。

2022年度第1学期は、月1回のセミナー「化学の基本から応用へ」と面接授業「生活における化学」を開講する予定です。皆さんの積極的な参加を期待しております。一緒に、基礎から応用まで化学を学んでいきましょう。

【龍谷大学先端理工学部教授 / 専門分野：機器分析化学】

三ツ石 郁夫 先生



専門はドイツ経済史です。産業革命や西南ドイツの地域経済、そして戦後の地域金融や中小企業史などを研究しています。まだ西ドイツだった時代に留学して以来、たびたびドイツに滞在し、地域に残される多くの歴史の舞台や近代化の遺産を見学してきました。書物で読んだ歴史の舞台などを自分の足で訪れ、それぞれの時代が抱えた問題に思いをめぐらせることはたいへん興味深いことです。歴史は、「現在と過去との間の尽きることのない対話」(E. H. カー)と言われます。セミナーでは、過去の時代の理念や思想、利害状況とそのもとで生きた人々の日々の営みを振り返りながら、現代に生きる私たちとの間で対話をしたいと思います。

【滋賀大学名誉教授 / 専門分野：近現代ドイツ経済史】

セミナー のご案内

所長・客員教員が開催する学びの場です。原則として滋賀学習センター所属の学生が参加できます。

以下の日程が変更になる場合は、滋賀学習センター WEB ページ及び掲示板でお知らせしますのでご注意ください。



スポーツ文化論セミナー【世界のスポーツや身体活動から学ぶ】

平井 肇 所長

現代社会におけるスポーツの社会・文化的な意義と役割について、比較文化論と地域研究の視点から分析・考察します。スポーツ好きがスポーツについて気軽に語り合う場です。

4月24日(日)10:15～11:45 5月22日(日)10:15～11:45
6月26日(日)10:15～11:45 7月10日(日)10:15～11:45



仏教文化圏の功德観と積徳行セミナー【地域間比較研究の視点から学ぶ】

兼重 努 先生

功德を積む行為を積徳行といいます。東南アジアの上座仏教文化圏と東アジアの大乗仏教文化圏では共に積徳行が盛んですが、相違もあります。両文化圏の功德観と積徳行について地域間比較研究の視点から学びましょう。

4月12日(火)10:15～11:45 4月19日(火)10:15～11:45
5月17日(火)10:15～11:45 5月24日(火)10:15～11:45
5月31日(火)10:15～11:45 6月14日(火)10:15～11:45
6月21日(火)10:15～11:45 7月 5日(火)10:15～11:45



ボランティア研究セミナー【社会貢献活動をどう捉えるか？】

川中 大輔 先生

市民の社会貢献活動は今どのような変化を見せているか。社会貢献活動は取り組む個人や企業に何をもちたらしめるのか。こうした問いについて理論的／実践的な動向を踏まえつつ、講究していきたい。

4月22日(金)13:30～15:00 5月20日(金)13:30～15:00
6月24日(金)13:30～15:00 7月 8日(金)13:30～15:00



栄華物語を読むセミナー【女性の視点からみた平安時代史】

京楽 真帆子 先生

『栄華物語』は、平安時代約 200 年間の貴族社会の様子を、仮名を使って物語風に描いた歴史物語です。前半部分は、赤染衛門が執筆したと言われています。その物語を歴史学研究の立場から輪読していきましょう。

4月13日(水)10:15～11:45 5月11日(水)10:15～11:45
6月 1日(水)10:15～11:45 7月 6日(水)10:15～11:45



化学の基本から応用へセミナー【実験から学ぶ化学の基本と応用】

藤原 学 先生

化学の基本は「元素の周期表」ですが、これが出来上がるかなり前より化学の研究が盛んに行われ、いろいろな経験から知識が蓄積されてきました。いくつかの実験を通じて、化学の世界を楽しみましょう。

4月27日(水)13:30~15:00 5月25日(水)13:30~15:00
6月22日(水)13:30~15:00



ドイツ現代史セミナー【20世紀ドイツの歴史をたどる】

三ツ石 郁夫 先生

ドイツは20世紀において、帝政期とワイマール共和国、ナチ期や戦後分断国家などさまざまな時代を経験してきました。その歴史を政治と経済、思想を中心に振り返ります。講義と討論を織り交ぜて進めます。

4月12日(火)13:30~15:00 4月26日(火)13:30~15:00
5月17日(火)13:30~15:00 5月31日(火)13:30~15:00
6月21日(火)13:30~15:00 7月 5日(火)13:30~15:00

【オンライン(Zoom)セミナー】



比較文化・地域研究セミナー【アジアの隣人と話そう】

平井 肇 所長

アジアやオセアニアの国々からオンラインでゲストを招き、それぞれの国の文化や生活について話し合って相互理解を深めます。今年度は、こちらの参加者にも積極的に情報を発信していただく予定です。

4月24日(日)13:30~15:00 5月 22日(日)13:30~15:00
6月26日(日)13:30~15:00 7月 10日(日)13:30~15:00



※ハイブリッド形式(対面+オンライン)で実施します。



心理療法の基本セミナー【心理療法を俯瞰する】

荻田 純久 先生

心理療法に関しては、過去においても現在においてもさまざまな立場、理論、技法などが存在します。心理療法の未来はどうなるのでしょうか。本セミナーでは、心理療法の基本について考えていきたいと思います。

4月 9日(土)13:30~15:00 5月21日(土)13:30~15:00
6月 4日(土)13:30~15:00 7月 2日(土)13:30~15:00



※5月21日はハイブリッド形式(対面+オンライン)で実施します。



zoom
Online

は **Zoom** によるオンライン開講です。以下のいずれかの方法で参加できます。

- ① 自宅でPCやタブレットからZoomに接続する
- ② PCやタブレットを持参し滋賀学習センターで受講する
- ③ 滋賀学習センターの大型モニターで受講する(定員5名・PC不要)

詳しくは放送大学滋賀学習センターウェブサイトをご覧ください。

事務室 からの お知らせ

学生証・学割証・入構許可証の発行、インターネット配信、郵送による教材の貸出、図書・再視聴室の利用期間や図書・教材の貸出の方法、それぞれの手続きや分からないときの本部問い合わせ先などについてご案内します。



滋賀学習センター事務室昼休み一斉休憩の実施について

働き方改革等対応のため、滋賀学習センターでは12時から12時45分の間、窓口を含め事務室は閉室しています。この間は電話も繋がりません。ただし、単位認定試験期間は除きます。なお、図書・再視聴室はこの時間帯もご利用いただけます。

第1学期の窓口での手続きについて

■学生証の発行

- * 学生証の発行には、写真票を大学本部に提出し、システムWAKABAに登録されていることが必要です。大学本部での登録完了の後、学習センターで発行することになります。
 - * **学期開始後から単位認定試験開始までに余裕をもって、手続きを終えてください。**
 - * 有効期限を経過したり退学等により学籍を失ったりした場合は、学習センターに返還してください。
 - * 学籍が継続する場合は、期限切れの学生証を持参し、学生証の発行手続きをしてください。
- ※詳しくは、「学生生活の葉」学部：18頁～19頁、大学院：24頁～28頁を参照ください。

■入構許可証の発行

- * 車で来学される方は「入構許可証」が必要です。
- * 「入構許可申請書」は「利用の手引き」最終ページに綴じ込んでいます。必要事項をご記入いただき、切り離して窓口にご持参ください。「入構許可証」を発行します。
- * **入構許可証は発行年度のみ有効です。**

学割証の発行について

全科履修生・博士全科生・修士全科生のみ利用できます。選科履修生ならびに科目履修生は対象外です。

- ① 自宅の最寄り駅から**学習センターに通学**するための回数券(定期券不可)を購入できます。
 - * JR西日本(2割引)瀬田まで購入可
 - * 京阪電車(2割引)京阪山科・京阪大津京・京阪膳所・京阪石山まで購入可
 - * 上記以外の私鉄をご利用の場合は、窓口までお問い合わせください。
 - * **有効期限は、発行日から1ヶ月です。**
- ② 自宅の最寄り駅から**他学習センターの面接授業を受講**するため、**大学本部に通学**するための普通乗車券(特急券不可)を購入できます。(片道100kmを超える場合のみ)

<科目登録決定通知書など、日時・場所が記載されたものをご提示ください。>

 - * JR(2割引) 例：瀬田→(米原経由)→海浜幕張
 - * **有効期限は、面接授業等の初日の10日前から終了日の5日後迄です。**

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：125頁～127頁、大学院：115頁～116頁を参照ください。

インターネット配信・インターネットラジオについて

放送授業(テレビ科目、ラジオ科目)は、パソコンやスマートフォンなどで開設期間中ならいつでも視聴することができます。ただし、インターネット配信はストリーミング配信ですのでダウンロードすることができず、視聴中は常にインターネット通信費がかかる場合があります。通信費のかからないWi-Fi環境等での視聴を推奨します。

ラジオ科目をパソコンやスマートフォンなどで放送と同時に聴ける「radiko」(ラジコ) もご利用いただけます。詳しくは、<http://radiko.jp> をご覧ください。

放送教材 (DVD・CD) の郵送貸出しによる学習について

ご家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材を郵送にて大学本部からご自宅に取り寄せることができます。往復の送料は、貸出希望者の負担になります。

※詳しくは、「学生生活の葉」学部：32頁～35頁、大学院：44頁～47頁を参照ください。

■貸出し期間及び貸出冊数

○貸出し期間：20日間 ○貸出し数：5枚以内 ※2022年4月1日～

発送作業は平日のみです。土・日・祝休日および年末年始、特別整理期間(2023年3月19日～2023年3月31日)は発送しません。



■貸出しすることができる放送教材

学期の初めから単位認定試験期間終了まで	単位認定試験期間の翌日からその学期の終了まで
<ul style="list-style-type: none"> 履修している科目 再試験を受験する科目 特別講義 	<ul style="list-style-type: none"> 開講中(第1学期は閉講後再試験科目を含む)のすべての科目 特別講義

図書・再視聴室の利用について

図書・再視聴室は図書資料や印刷教材(教科書)を書架より自由に取り出して閲覧できます。また、放送教材は登録科目にかかわらずどの科目でも、受付で許可を得てDVDプレーヤーやタブレット端末を使用して、任意の時間に視聴・授業の個別学習ができます。

■利用時間：9:15～17:45

■図書資料の貸出について

貸出しを希望する場合は大学本部の附属図書館を利用することになります。

※詳しくは「学生生活の葉」学部：109頁、大学院：100頁もしくは附属図書館のウェブサイト(<https://lib.ouj.ac.jp/>) でご確認ください。

■閉室日： 毎週月曜日・祝日、9月24日～9月30日、2023年3月25日～3月31日

■ロッカーおよびメッシュケースの利用

学習上必要とする教材以外の所持品(かばん等)は、図書・再視聴室へは持ち込まないで、ロッカーを利用してください。なお、貴重品は必ず身に付けてください。ロッカーの利用は当日限りとし、無料です。(利用する際には投入口に100円必要ですが、使用后100円は戻ります。)

また、カウンターにメッシュケースを置いていますので、教材等の持ち運びにご利用ください。なお、メッシュケースの利用は当日限りとします。

長浜教室(再視聴施設)の利用について

長浜文化芸術会館のご協力を得て、館内に滋賀学習センター再視聴施設(長浜教室)を設けています。設置してある放送教材と視聴機器を使っていつでも利用できますので、施設の利用規則を遵守して、授業の個別学習などにお気軽にご利用ください。利用する場合は必ず学生証を提出して受付にお申し込みください。また、放送教材の配架を希望する場合は滋賀学習センターまでご連絡ください。



スケジュール



4 月		5 月		6 月	
日 曜	内 容	日 曜	内 容	日 曜	内 容
1 金	第1学期放送授業開始(~7/14) 滋賀大学附属図書館利用申請受付開始(~4/20) 集中科目履修生(司書教諭)募集要項配布(~5/31)	1 日	集中科目履修生(司書教諭)出願受付 在学生科目登録(~5/31)	1 水	【セ】京楽 10:15
2 土		2 月	閉所日	2 木	
3 日		3 火	閉所日(憲法記念日)	3 金	
4 月	閉所日	4 水	閉所日(みどりの日)	4 土	面接授業 【セ】荻田 13:30(オンライン) zoom Online
5 火	第1学期オンライン授業開始(~8/31まで閲覧可能)	5 木	閉所日(こどもの日)	5 日	面接授業
6 水		6 金		6 月	閉所日
7 木		7 土	面接授業	7 火	
8 金		8 日	面接授業	8 水	
9 土	【セ】荻田 13:30(オンライン) zoom Online	9 月	閉所日 第1学期通信指導提出期間 【Web】(~5/31)	9 木	
10 日		10 火		10 金	2022年度2学期大学院修士選科・科目生、教養学部学生募集要項 配布(~9/13) 2022年度2学期大学院修士選科・科目生、教養学部第1回出願受付 開始(~8/31) 2023年度大学院博士全科学、修士全科学募集要項配布(~8/26)
11 月	閉所日	11 水	【セ】京楽 10:15	11 土	面接授業
12 火	【セ】兼重 10:15 【セ】三ツ石 13:30	12 木		12 日	面接授業
13 水	【セ】京楽 10:15	13 金		13 月	閉所日
14 木		14 土	面接授業	14 火	【セ】兼重 10:15
15 金		15 日	面接授業	15 水	
16 土	面接授業 第1学期面接授業空席発表	16 月	閉所日 第1学期通信指導提出期間 【郵送】(~5/31)	16 木	
17 日	面接授業	17 火	【セ】兼重 10:15 【セ】三ツ石 13:30	17 金	
18 月	閉所日	18 水		18 土	面接授業
19 火	【セ】兼重 10:15	19 木		19 日	面接授業
20 水	滋賀大学附属図書館利用申請締切	20 金	【セ】川中 13:30	20 月	閉所日
21 木	第1学期面接授業追加登録開始 (科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで)	21 土	面接授業 【セ】荻田 13:30(オンライン) zoom Online	21 火	【セ】兼重 10:15 【セ】三ツ石 13:30
22 金	【セ】川中 13:30	22 日	面接授業 【セ】平井 10:15 【セ】平井 13:30(オンライン) zoom Online	22 水	【セ】藤原 13:30
23 土	面接授業	23 月	閉所日	23 木	
24 日	面接授業 【セ】平井 10:15 【セ】平井 13:30(オンライン) zoom Online	24 火	【セ】兼重 10:15	24 金	【セ】川中 13:30
25 月	閉所日	25 水	【セ】藤原 13:30	25 土	面接授業
26 火	【セ】三ツ石 13:30	26 木		26 日	面接授業 【セ】平井 10:15 【セ】平井 13:30(オンライン) zoom Online
27 水	【セ】藤原 13:30	27 金		27 月	閉所日
28 木		28 土		28 火	
29 金	閉所日(昭和の日)	30 月	閉所日	29 水	
30 土		31 火	集中科目履修生(司書教諭)募集要項配布終了、 出願受付締切 第1学期通信指導提出期限【Web、郵送】 【セ】兼重 10:15 【セ】三ツ石 13:30	30 木	